

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課				
		実施期間	S46 ～	E-mail	shizenhogo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

「気候変動の影響」「里地・里山の管理の衰退」「外来種の移入・分布拡大」「過剰な捕獲・採取」などにより、野生動植物の生息環境が悪化している。

希少種をはじめとする多様な種を保全するため、生物多様性を【知り】、人と人を【繋ぎ】、生き物を皆で【守る】を、多くの主体との協働により継続していく必要がある。

2 事業目的

生物多様性や生態系が暮らし・社会・経済の基盤であることを県民が学び、環境保全に関心を持つとともに、県民や地域、事業者など多様な主体が自然環境に配慮して行動する、「人と自然が共生する信州」の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①多様な主体との協働による生物多様性の保全
- ・いきものを保全する活動団体を技術・資金・人材面の支援により社会全体で支えるパートナーシップ協定を締結。協定締結を拡充するため、企業、保全団体が一堂に会するマッチング会を開催
 - ・県民全体が生物多様性保全への機運を醸成するため、知って、学んで、楽しむ、親子フィールド学習会を開催
- ②希少野生動植物の保護対策の推進
- ・絶滅のおそれのある野生動植物について、県民・事業者等へ理解を広める基礎的な指標「レッドリスト」の改訂作業を実施
 - ・希少野生動植物保護条例に基づき、保護活動の指針となる保護回復事業計画を策定するとともに、概ね 5 年を経過した計画の評価検証を実施
 - ・近年、調査が行われておらずライチョウの生息状況が把握されていない北アルプス北部山域において、生息数や減少要因を明らかにする調査を実施
- ③地域が取り組む外来生物対策を支援
- ・地域の対策が連携・協働して実施されるよう、市町村、地域振興局向けの外来種対策講習会を実施
 - ・県内に生息範囲を拡大しつつあるアライグマの防除の枠組みを構築するため、防除指針を策定する

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度			R6年度			R7年度			R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	親子フィールド学習会参加者数	人	50	46	↘	52		↗				60	未達成	学習会を行う座学場所及びフィールドワークのキャパシティを踏まえつつ、前年度の実績を基に設定
②	保護回復事業計画策定及び検証数	種	30	31	↗	34		↗				34	達成	2027年度目標38種（第5次長野県環境基本計画における参考指標）を達成するため、2種／年度のペースで実施
③	指標なし													

5 本事業が貢献する総合 5 年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	生物多様性保全パートナーシップ協定締結数(累計)	件	2023 (R5)	27	2024 (R6)	28	2025 (R7)	29	2027 (R9)	34

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	45,682	△ 1,358	44,324	35,824	38,830	7.3
R6年度	0	41,872	△ 120	41,752	24,900	33,846	7.3
R5年度	0	30,035	△ 860	29,175	24,961	23,774	7.3

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課	

7 主な取組実績と成果

①多様な主体との協働による生物多様性の保全

- ・県内の生物多様性増進活動を支援する拠点として「長野県生物多様性センター」を新たに開設した。
- ・生物多様性保全パートナーシップ協定の締結促進を図るため、人的・資金的支援が必要な保全団体と支援を希望する企業などの連携の仲介や、企業に向けて保護団体の活動を紹介するマッチング会を実施。結果、1件の新規協定締結、1件の協定締結検討、1件の寄付に繋がった。
- ・将来の保護活動の担い手となり得る小学生を対象に、保護者同伴の体験型自然学習会（親子フィールド学習会）を2回開催、計52名（参加申込者数133名）の参加に繋がった。

②希少野生動植物の保護対策の推進

- ・県内の絶滅のおそれのある野生動植物をまとめた「長野県版レッドリスト」の改訂作業を推進した。
- ・希少野生動植物保護条例に基づき、新たにアカモズ（鳥類）の保護回復事業計画策定、タデスミレ及びオオルリシジミの保護回復実施計画の評価検証を実施した。
- ・県直営共創型ふるさと納税受付サイト『ガチなが』で、ライチョウ保護活動へのふるさと信州寄付金（特定施策型）を募集（募集期間：R7.4.10～R8.3.31）し、約350万円の寄付をいただいた。
- ・北アルプス北部（白馬岳周辺）におけるライチョウの生息数等の調査の実施し、推定生息数255羽という結果を得た。
- ・ライチョウの保護対策としてR4～6年度に中央アルプスで実施し効果のあったサルの追払いを、R6年度にライチョウの生息状況調査を実施した北アルプス南部においても実施。今後も継続して実施し、効果を検証していく。

追払い実施期間：R7.7.7～9.3（うち31日） 実施期間中サル出現日数：17日

③地域が取り組む外来生物対策を支援

- ・外来種の駆除活動を地域において主導的な立場で進める市町村担当者、指導者、地域リーダー向けに効果的な駆除方法や他地域の対応事例の紹介や対策技術の講義等といった内容の講習会を現地実習、WEB研修の2パターンで開催。現地実習は9市町村、5地域振興局、Web研修は11市町村、6地域振興局の参加があった。
- ・県内のアライグマ捕獲・目撃数、被害などの情報収集、県内で捕獲されたアライグマ（9個体）の解剖分析調査を実施し、その結果をアライグマ定着状況が進行し特に注意が必要な6市町村に対しては対面で、その他市町村に対しては書面でフィードバックした。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	親子フィールド学習会参加者数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
定員60名に対し133名の参加申込みがあり、キャンセル等を見込み参加決定者数を72名としたものの、当日キャンセルなどが想定以上に発生したことから、実際の参加者52名に留まり、目標値60名には届かなかった。							
指標②	保護回復事業計画策定及び検証数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
R6年度に調査等を実施し、延期となっていたアカモズの保護回復事業計画をR7年度に策定し、評価検証2種を予定通り実施することで目標値達成となった。							
保護回復事業計画：計画策定後概ね5年ごとに、順次、評価検証を実施。（内、計画策定：16、評価検証18）							
保護回復事業計画の策定：1種（アカモズ）、計画の評価検証：2種（タデスミレ、オオルリシジミ）							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・生物多様性保全パートナーシップ協定件数は増加しているものの、資金面、人材面で課題を抱える保全団体が依然多くある。
- ・希少種の保護対策を効果的に講じるためには、生息状況等の情報を長期的かつ継続的に把握・整理するとともに、効果的な保護対策を検証・実施していく必要がある。
- ・特定外来生物の防除は、地域主体による防除活動が支えとなっているが、高齢化などにより主導的な立場となる担い手不足が生じている。
- ・県民全体の生物多様性の主流化の機運醸成には、今後も様々なアプローチが必要となる。

(2) 事業改善の方策

- 生物多様性を社会全体で支え合う仕組みづくりや生物多様性の主流化、自分事化の機運を醸成するために、以下の事業を実施していく。
- ・自然共生サイト認定を目指す企業、団体等の掘り出しや支援
- ・生物多様性保全パートナーシップ協定制度の広報、企業・団体のマッチング
- ・生物多様性保全ポータルサイトなどにより、生物多様性の理念、県や様々な主体の取組紹介、関係イベントなどの情報を発信
- ・「長野県版レッドリスト」の改訂
- ・長野県外来種対策ハンドブックや解説動画等を活用した普及啓発
- ・生物多様性に資する指導者育成研修会、親子学習会などの開催

事業番号	06 05 01	細事業一覧（令和 7 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	生物多様性保全体制構築事業		850 千円	2,267 千円	2,833 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生物多様性保全パートナーシップ協定の締結	委託	いきものを保全する活動団体を、技術・資金・人材面の支援により社会全体で支える協定を締結。協定拡充のためマッチング会を開催		
			マッチング会の開催：1回 協定締結数：1		
2	「長野県生物多様性センター」の開設	直接	県内の生物多様性増進活動を支援する拠点として「長野県生物多様性センター」を新たに開設		
			地域生物多様性増進活動支援センターの設置：1件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	ホットスポット保全対策事業		5,945 千円	671 千円	1,912 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	保全活動支援事業	補助金	パートナーシップ協定に基づく寄付金をもとに、市民団体や企業等が連携・協働して実施する個別の保護増殖や生物多様性の保全活動に対して補助金を交付 補助金交付団体：5 者		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	生物多様性ながの魅力発信事業		2,498 千円	2,245 千円	2,170 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	親子フィールド学習事業	委託	自然保護センター周辺において、将来の保護活動の担い手となり得る小学生をターゲットに、保護者同伴の体験型学習会を実施 親子フィールド学習： 2 回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	レッドリスト改訂事業		2,652 千円	11,531 千円	13,072 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	レッドリスト改訂検討会議の運営	委託	県民・事業者等へ希少種保護への理解を広める基礎的な指標として、県内で絶滅のおそれのある野生動植物の状況を取りまとめた「長野県版レッドリスト」を改訂するため、有識者と共に内容を検討 R8改訂を目指し、現地調査・文献調査・リスト編纂、改訂検討会議(1 回)・専門会議(9 回)を開催 希少種に関する現地調査・文献調査		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	希少野生動植物保護対策事業	28 千円	79 千円	737 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	希少種の指定・保護回復事業計画の策定	直接	希少野生動植物保護条例に基づき、保護活動の指針となる保護回復事業計画を策定及び策定済計画に基づく保護活動の状況評価・計画妥当性の検証を実施 保護回復事業計画の策定：1種（アカモズ） 計画の評価検証：2種（タデスミレ、オオルリシジミ）	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	ライチョウ保護スクラムプロジェクト	5,555 千円	11,694 千円	13,323 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ライチョウ生息状況調査	委託	近年、調査が行われておらずライチョウの生息状況が把握されていない山域において、生息数や減少要因を明らかにする調査を実施 実施場所：北アルプス北部（白馬岳周辺）6月～9月	
2	ニホンザル対策事業	委託	ライチョウの復活に取り組んでいる北アルプス南部において、ライチョウへの危害が懸念されるニホンザルの追払いを実施 実施時期：7～9月	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	外来生物戦略構築事業	3,555 千円	3,456 千円	3,297 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	外来生物対策普及講習会の実施	委託	地域の外来種の駆除活動における主導的な立場の地域リーダー等を対象とした講習会を実施 外来種対策講習会の実施：2回 参加対象：市町村、地域振興局、地域リーダー	
2	外来生物防除対策事業	委託	県内に侵入や定着が拡大している外来哺乳類（アライグマ等）の目撃情報の把握や、捕獲個体の解剖分析等による分布拡大状況把握調査を実施 分布拡大状況把握調査：1回	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	自然探勝会事業	451 千円	600 千円	600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然探勝会の開催	委託	障がいのある方へ自然にふれあう機会を提供する自然探勝会を開催 イベント開催：2箇所	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
9	県自然環境保全地域等標識板設置事業	2,239 千円	1,303 千円	885 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	標識板の更新	直接	自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介するための案内標識板等を改修 標識板の改修：2基	